



東地申第5号「首都圏本部におけるワンマン運転の実施 について」に関する解明申し入れ団体交渉を実施①

1. 提案資料内にある「業務の高度化」について具体的に示すこと。

【回答】最新の技術を広く活用し、置き換え可能な仕事を機械化・システム化することにより、輸送サービスの価値を高め
ていくことである。

《議論ポイント・確認事項》

- ① 業務の高度化とは、車掌業務をシステム・機械化し、運転士・指令など別のの人に置き換えること。
- ② ワンマン運転に伴いドア扱い(運転席の真上にモニターの設置)、車内放送は運転士が行う。運転士が対応出来ない時は、指令員が指令・客室間通話機能で車内放送、車内警報ブザー対応を行う。
- ③ 車内秩序の維持は今まで車掌が実施していたが、今後は車内防犯カメラが抑止力になる。

2. 提案資料内にある「お客さまが求める輸送サービス」について具体的に示すこと。

【回答】安全・安定輸送の確保をベースとして、快適な車内空間やシームレスな移動の提供、フレキシブルな列車運行を実現していくことなどである。

(組)フレキシブルな列車運行とは？

(会)急遽列車設定する時に、今までは車両・運転士・車掌と3つの手配をしていたが、ワンマンになる事で、車掌の手配
がなくなり、車両・運転士と2つの手配になる事。 **確認**

(組)快適な車内空間とは？

(会)車内温度、きれいさ、乗り心地など。

(組)鉄道オペレーションのコスト削減の中にワンマン運転の実施がある認識でよいか。

(会)社会全体の人口減少やご利用されるお客さまが減っていく中の対応としてワンマン運転の実施がある。認識に差は
ない。 **確認**

(組)人口減少が当社に与える影響は？

(会)乗務員を始め、会社全体として採用も厳しい現実がある。

3. 首都圏における長編成ワンマン運転を実施するにあたって、必要と考えている条件や設備を具体的に示すこと。

【回答】省令等に則り、運転士異常時停止装置等の整備に加えて、安全の確保やお客さまのご利用状況を勘案し、車載ホ
ームモニタシステムや指令・客室間通話機能等の整備を進めている。なお、関係社員に必要な教育・訓練を実施し
ているところである。

(組)長編成ワンマン実施にあたり省令上必要な設備と、会社として必要と考えている設備はなにか？

(会)省令上は運転席でドア扱いができる装置、運転士異常時停止装置(EB装置)、放送装置(運転台設置の放送マイク)
会社として必要と考えているものは車載ホームモニタシステム、ホームドア、指令・客室間通話機能。 **確認**

(組)首都圏で長編成ワンマン運転をやる場合、ホームドアは必須か。

(会)ホームドアはホーム上の安全を確保する目的。ワンマン運転が目的ではないが結果的にそうなる。 **確認**

(組)保安装置は？

(会)長編成ワンマンで全てATCとは考えていない。 **確認**

(組)制御装置は？

(会)停止位置を合わせるためのバックアップとしてATOもしくはタスクとなる。 **確認**